

## 「未来高岡」ステップアップトーク（小勢地区）会議記録 <要旨>

1、日 時 平成 28 年 10 月 31 日（月） 午後 7 時 30 分から 8 時 30 分

2、場 所 小勢公民館

3、出席者 市民 30 名（うち女性 1 名）

高岡市

市長、経営企画部次長、広報統計課長

4、会議次第

(1) 高岡市総合計画基本構想の紹介

(2) 参加者との意見交換

.....

### (1)高岡市総合計画基本構想の紹介

#### (2)参加者との意見交換

参加者

- ・若者が中々結婚しないことも人口減少の原因の 1 つではないか。行政として何かできることはないか。

市長

- ・未婚率の上昇や晩婚化は、出生率にも関わってくるため深刻な問題と捉えている。行政としても高岡地区広域圏事務組合で縁結びプロジェクトを開始し出会いの機会を設けており、その他、商工会議所などでも婚活支援事業を行っている。また、結婚し子どもが産まれた後も仕事が続けられるか不安をもつ方に対応したいと考えており、今年 4 月には高岡市役所において、職員をあげて子育てを応援するムードを高め、仕事と子育ての両立を図りやすい組織としていくため、管理職全員を対象に「イクボス宣言」を行った。市役所でも家庭を大事にすることを奨励しており、子育てしやすい環境づくりに努めていきたい。

参加者

- ・歳入を増やし、歳出を減らすことで行政をスリム化してほしい。

市長

- ・毎年、様々な事業の見直しを行い効率化を図っている。また、公共施設では、多くの施設が老朽化し修繕が追い付かない状況であることから、人口に応じた施設数とし、かつ施設の長寿命化を図るため早期に補修するなどして既存の施設を有効活用していきたい。

参加者

- ・小勢地区では、あっかりネット<sup>1</sup>が始まったことで、従来のケアネット<sup>2</sup>と併せ効果が発揮されているが、それに続く施策はあるのか。

市長

- ・市民力や地域力を活かすためネット事業を進めており、あっかりネットが市内ほぼ全域に広がったことでベースができ、ケアネットでさらに広域的かつ専門的になった。何かあればすぐ対応できるような複層的なサービスを全市的に広げ、福祉施設や病院に繋がるようにしたいと考えており、今後もネットワークを広げながらサービスを充実させていきたい。

参加者

- ・小勢地区の地域バスが順調に運行されており、今後も利用者が増えるよう努めていきたい。また、将来的なバスの買い替えも含めて行政からの支援をお願いしたい。

市長

- ・高齢者が増え運転できない方が増えてくると、地域バスは効果的な交通手段となることから、高岡市で実施した最初の地域バスの取り組みとして順調に運営してほしい。また、運営上の課題などがあれば教えてほしい。

参加者

- ・介護保険法の改正により、要支援 1 及び 2 の訪問・通所介護事業が市町村に移管されることとなった。市の担当窓口や包括支援センター、社会福祉協議会などの関係団体の間で十分に連携を図ってほしい。

市長

- ・今回の事業の移管は、重要な介護サービスに関しては市町村も十分に関わっていくべきだとの趣旨だと捉えており、関係団体と十分に連携を図りながら、サービスを必要とされる方に十分に行きわたるような仕組みづくりを行っていきたい。

参加者

- ・児童数の減少から五位中学校下で小学校の統廃合が行われるが、通学する児童を増やすためにも、統合する学校は、魅力的な校舎で特色ある教育を行うものにしてほしい。

---

<sup>1</sup> 住民にとって身近な活動範囲である小学校区を圏域として、地域の福祉・生活課題を解決するために、自治会、社会福祉協議会、民生委員・児童委員、福祉活動員、高齢福祉推進員等が、それぞれの役割と地域の特色を活かしながら連携し、共に支え合う地域福祉ネットワークのこと

<sup>2</sup> 概ね小学校区を単位として、健康や生活に不安のある人などを、地域住民が 2～3 人のチームをつくって支援するもの。

市長

- ・過去の統廃合から長い時間が経過していることから、今回の統廃合が実質的に初めてのものとなる。現在、校舎の利用方法や教育内容について話し合いを行っている。素晴らしい教育が提供できるような魅力的な学校にしていきたい。また、配置される教員についても、県にお願いしていきたい。